

広報

えびな

1/15日号

編集・発行 海老名市役所 市長室

〒243-0492 神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ 046(231)2111(代) ☎ 046(233)9118

HP http://www.city.ebina.kanagawa.jp

「広報えびな」は、市シルバー人材センターの会員が各家庭へ直接配布しています。お手元に届かない場合はご連絡ください。

☎ 同センター (☎237・3001)

「あなたのフィールドへ。海老名市」 新政策・都市ブランドの創出事業を展開中！ 政策事業推進課 (☎235・4635)

消防力一層の強化へ

多様化する災害に対応



①本署前に並ぶ消防車両 ②現在の北分署。平成22年3月に移転予定 ③消防車両の点検は毎日実施 ④119番通報が入る通信指令室 ⑤南分署の車両。右は昨年12月に更新した高規格救急車 ⑥消防署員は消防・救助・救急の3隊に分かれて活動にあたる ⑦装備品の動作確認も重要

地域防災の要、消防団も活躍中

地域消防・防災の要として市内では消防団も活躍中です。消防団は、市の消防機関の一つ。市では1本団を設置し、その傘下に15の分団が配置されています。平成20年12月現在206人の団員が消火・救助活動や防災活動などにあたっています。

◆身分は地方公務員、補償制度あり

団員は、それぞれの本業を持ちながら、活動できます。身分は、地方公務員(非常勤特別職)となり、報酬が支給されます。また、活動中のけがなどに対しては、補償制度が適用されます

◆地域に密着した活動

被災現場では、消火・救助活動、避難誘導などを行います。このほか夜間パトロール、消防操法大会への参加など地域に密着した活動を行います

◆「消防協力員制度」もスタート

災害現場へ迅速に到着できる人員の確保、消防団員の災害活動を支援することを目的として、平成20年4月、消防団員経験者で構成する「消防協力員制度」を立ち上げました。同年12月現在、62人が登録しています

◆新規団員募集中です

消防団では、新規団員を募集しています。市内在住・在勤の18歳以上の健康な方ならどなたでも応募できます。応募方法など詳しくは消防総務課へお問い合わせください。

●市消防本部に配備している 主な車両(台)

- はしご付消防ポンプ自動車……………1
- はしご付消防自動車……………1
- 化学消防ポンプ車……………1
- 消防ポンプ自動車……………1
- 高規格救急自動車……………5
- 救助工作車……………1
- 災害支援車……………1
- 資機材搬送車……………1

このほか、市北部地区の、災害発生時の対応拠点としての機能を強化するため、北分署の移転整備を進めています。開署は平成22年3月を予定しています。

また、救急車の出場件数も前年に比べ減少しましたが、依然として緊急性がない出場要請が多いため、普通救命講習などを通じて、適正な救急車の利用を呼びかけています。
☎ 消防本部 (☎231・0355)。

市消防本部が保有する主な消防車両は左表のとおりです。
昨年11月には、最新鋭の災害支援車を本署に配備しました。水難救助用のボート・化学防護服などを装備し、さまざまな現場で

の活動が可能です。また同年12月、南分署の高規格救急自動車を更新しました。高度な救命資機材を搭載しているほか、夜間の救急活動も容易にする仕様となっています。これらに加え、地域防災の要として活動する、消防団全15分団に配備しているポンプ車の更新を進めるなど、消防力強化に努めています。

平成20年中の市内の火災件数は50件で、前年と比較して減少しましたが、建物火災の件数は増加しています(右表参照)。このため市消防本部では、防火に向けたパトロールやPRに努めています。市民のみなさんも火の取り扱いには十分ご注意ください。

◆建物火災が増加 火の取り扱いにご注意を

都市化の進展により、災害はますます複雑化、高度化しています。このため市消防本部では、さまざまな災害に対応できるような最新の装備を持つ車両を導入するなど、消防力の強化を進めています。

◆新型消防自動車を 配備・更新

北分署を移転整備中

●市内の火災件数

	平成19年	20年
建物火災	23	28
林野火災	0	0
車両火災	5	5
その他	24	17
合計	52	50

●救急車の出場件数

	平成19年	20年
出場件数	5555	5221
搬送件数	5199	4891
搬送人数	5283	4947